

奥会津だより



短い秋の陽を惜しむようにサトイモを干す
濃い陰影に追い立てられながら探す日なた
木立から風が生まれて畑をわたる
収穫を支える太陽と風の恵み

昔の生活

酒井 雪音★只見町立只見中学校 二年



この写真は、曾祖父が家で飼っていた牛の世話をしている様子です。この写真を元に、祖母が昔の暮らしについて話してくれました。昭和初期。この頃は、た

次は祖母は曾祖母の話をしてくれました。曾祖母は胃ガンで亡くなったのです。私はその事を初めて知りました。たびたび熱を出していた曾祖母ですが、ずっと症状が悪化するまでその事をガマンしていたそうです。なぜガマンしていたのかわかりません。理由は、この時代の頃は、病院も遠くまで行かないと無かったりして、なかなか病院に向うことが難しかったからだと思います。だから、病気がかかってしまっても、ガマンしてしま

祖母は言います。色々あって、とても楽とは言えない生活だが、昔は人も大勢いて、何か出来事があれば皆で人の家に行ったりして、なんだかんだで楽しい暮らしだったと。これまでの話を聞いて、私は思いました。もし、タイムスリップが出来るのなら、この頃に行ってみたいなど。なぜそう思うのかと言うと、昔の話を語っている祖母の顔がとても楽しそうな表情をしていたからです。

取材ノート

Q：雪深い只見に生まれ、雪音さんというお名前。親御さんは、どのような想いで名付けたのでしょうか。

雪音さん：おしとやかな子に育つようにと聞いていますが、真逆になっているかもしれません。名前は自慢です。嬉しいですよ。「雪の音」ってかっこいいと思います。

睦美さん：生まれた時、雪がしんしんと静かに降っていました。

Q：「昔の生活」ということで、牛の世話をしていた話がありましたね。

睦美さん：朝晩の世話はじいちゃんがやって、牛小屋の掃除とかは私がやっています。夏は、田のクロの草を刈りにいってエサをやっていました。Q：草刈りは、今でも重労働ですが…。

睦美さん：そうだなあ、30才頃かな、こころ辺では嫁さんたちがみんなやっていました。草を刈ったり、干したり…。どこの家でも入り口に牛を飼っていて、家族と同じでした。

祖母：酒井 睦美さん

(昭和14年9月6日生75歳)

孫：酒井 雪音さん

(平成12年1月21日生14歳)

(只見中学校 3年)

ここでは、馬は飼っていませんでした。綿羊(メンヨウ)だな。

雪音さん：メンヨウ？

Q：昭和30年代になると、耕運機の時代になり、農耕用の牛は不要になってしまいますね。

睦美さん：それは、かわいそうだったなあ。牛を買う人が来て買われて行く時、行きたくなくて牛が足突っ張って、でっかい声で鳴いて、ほんとにかわいそうだった、涙ぼろぼろって…。牛は利口なんだよなあ。

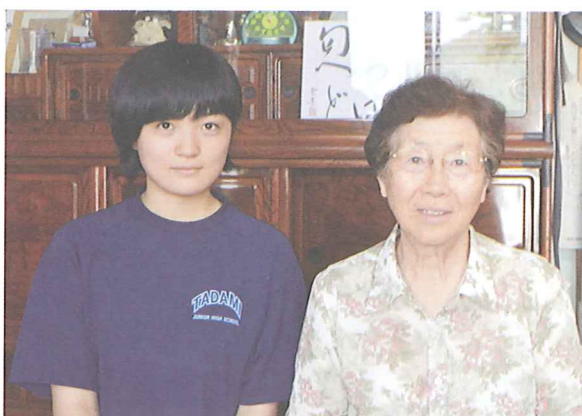
牛の「コエダシ」(肥え出し)っていうのかな、それをやっていた時、疲れていたし、あんまりひどいから牛のしりをペタって叩いたら、牛はわがっただよな、涙流したから。(涙声になっておられた)

Q：曾祖母が胃がんで亡くなられたということですが。

睦美さん：81歳だったかな、自分の病気を隠して、コワくても熱出てもがまんして、いよいよ痛くなった時診療所に行ったんだな。昔の人は、ホントに、がまんがまんだった。

雪音さん：がまんしていたのは、病院へ行くとお金もかかるし、家族に迷惑をかけたくないと思ったからなのかな。

睦美さん：楽ではなかったけれど、この村の半分ぐらいが親戚で、親戚が多いから、何か困ったことあればお互い助け合って、出来ることは手伝って、ここらみんなそうだから。テレビが無かった頃、テレビがある家に行くと「見せてやれ」って



大勢の人でその家で見せてもらったりしました。

村が家族のようだった…。雪音さん：今は、子どもたちもみんなが集まったりしないんです。子どもと大人が集まってワイワイ出来る環境が楽しそう。

Q：雪音さん、高校進学とか将来の希望は？

雪音さん：高校はまだ親元から離れないで、地元の高校でしっかり学んで将来につなげていきたいです。

本が好きなので、デザイン系の大学に行くと編集の仕事が出来ればいいな、と思っています。

※こぼれ話

嫌なことがあると、裏の神社に「ようし、行ってみるか!」という雪音さん。一人手を合わせ、願いごとをするという。家がいつばいあるので、叫ぶことは出来ない、と微笑みながら。

奥会津の食材と料理



栗の渋皮煮

山栗は小粒だが味が良く、舌触りもなめらか。少し面倒だが、実を傷つけないようにていねいに鬼皮をむいて下煮する。一旦火を止めて渋皮の筋を取り、重曹を入れて煮る。さらに2、3回水を替えながら煮て十分渋みを抜いてから砂糖を入れて煮ふくめる。

弱火でひたすら煮るだけだが、手間を覚悟の気合の一品。

魔除けと衣装

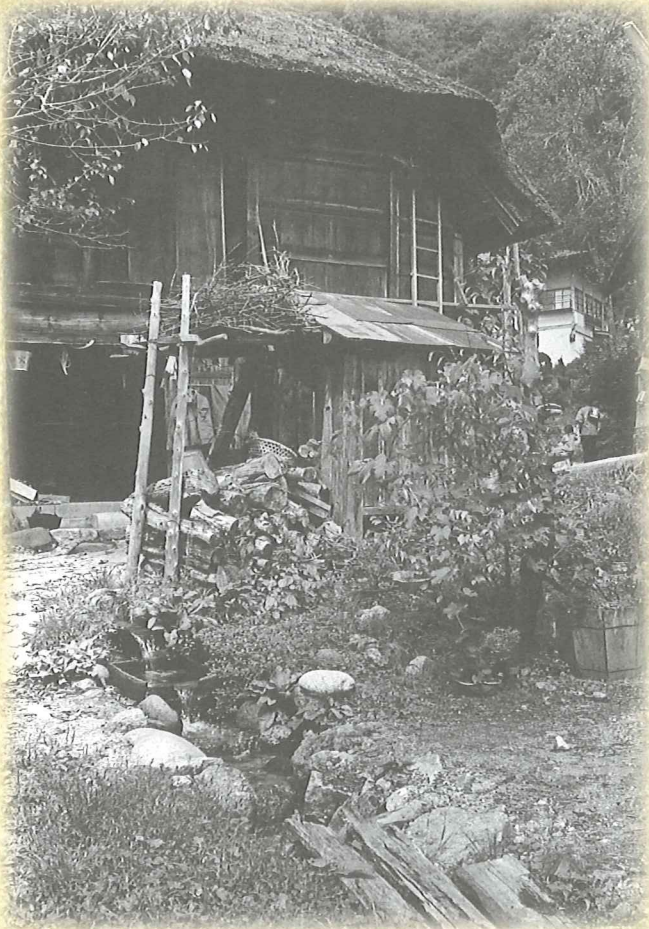
もめん糸、麻糸を結ぶ



両足首にもめん糸を巻いて結んでおくと、足の怪我や転倒を防げるという。

また、耳鳴りがひどいときには、どちらか一方の足首に麻ひもを巻いて結んでおくと、一ヶ月ほどで耳鳴りが軽減してくるのだという。

いずれの場合も人差し指が入るくらいのゆるみを持たせて結び、入浴時も外さず、いつもつけたままにしておくのが良いとされる。



水場のある暮らし

写真・文 竹島 善一

伊南・内川の集落は檜枝岐川と伊南川の合流地にある。ここで二つの川は出会い、人は集落を成して分かれて行く。斜面に沿って散在する家々を、細い道と山からの細流が結ぶ。

薪（たきぎ）、水、家屋も、この地の山からの恵みである。各戸の用をつとめて、清流は伊南川へと注ぎ込む。

(昭和51年9月 南会津町伊南)



キバナアキギリ

黄色い花を咲かせるアキギリに似た植物ということから黄花秋桐と名付けられた。学名はサルビア・ニッポニカ。日本産のサルビアで、赤花の園芸種サルビアと同じ仲間。秋が迫る登山道わきのやや湿った場所で見られる。

奥会津の生き物たち

モズ



キチツ、キチツ、キチツとモズの高鳴きがびびきわたるようになると、秋はいっそう深まる。百舌鳥といわれるとおり、いろいろな鳥の鳴きまねをする。縄張り宣言も晩秋まで、降雪の前に渡っていく。

(鳥と花の写真・文：新国 勇)

Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「コワイ」

ヒント：P2. 聞き書きをご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、檜枝岐村の「曲げ輪」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979

奥会津書房 宛

●応募締切：2014年10月15日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号83号で発表いたします。



◎81号「はがいがね」の答え：「はかどらない」

たくさんのご応募ありがとうございました!

読者コーナー



お便り紹介

- いつも貴重な歴史の一面を思い起こすような内容で、心から感謝いたします。地方の文化はその土地の宝物です。方言も同じです。こんなすばらしい紙面がずっと続くよう祈ってます。(千葉県我孫子市 K.Kさん)
- 同じ福島県といえども、奥会津ののどかな生活が目に見え、写真と文章。楽しく懐かしく読ませていただきました。(福島市 Y.Sさん)
- 鬼怒川温泉にてこの紙面を手に取りました。なかなか会津に足を運ぶ機会がありませんが、行った気分させてくれ、いつも読ませてもらってます。(茨城県結城市 S.Hさん)
- 「野仏」の表紙、穏やかな表情に魅せられます。石仏なのに、見れば見る程、表情の豊かさに引き込まれそうです。大切に読んでおきます。(柳津町 S.Yさん)

奥会津だより
定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

奥会津アドベンチャーFINAL好評開催中!!



「温泉」・「食」・「探検」で奥会津をめぐる先着でオリジナル賞品がもらえます。



〈問い合わせ〉

只見川電源流域振興協議会 電話番号：0241-48-5525

上記のパンフはお近くの道の駅、観光案内所等で配布中です。ぜひご参加ください。

奥会津イベント情報

9月下旬～11月上旬

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
9月22日(月)～10月4日(土)	山人(やもーど)秋まつり	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉観光協会加盟の旅館、民宿	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
9月28日(日)	第4回やないづタウンリレーマラソン	柳津町	B & G柳津グラウンド	柳津町B & G海洋センター ☎0241-42-2246
	第40回野尻川ます釣り大会	昭和村	昭和村下平運動広場	昭和村観光協会 ☎0241-57-2204
9月30日(火)	九月堂おこもり	柳津町	圓藏寺会館	柳津観光協会 ☎0241-42-2346
10月11日(土)	第3回会津やないづ赤べこまつり		柳津観光案内所前	柳津町役場地域振興課 ☎0241-42-2114
10月11日(土)・12日(日)	奥会津只見うまいもんまつり	只見町	JR只見駅前広場	只見町商工会 ☎0241-82-2380
10月12日(日)	人形塚供養祭	柳津町	圓藏寺会館	柳津観光協会 ☎0241-42-2346
10月13日(月)	自然首都・只見トリムウォーク&トリムラン	只見町	JR只見駅前広場	只見町商工会 ☎0241-82-2380
	第52回只見町駅伝競走大会		只見町内	只見町教育委員会 ☎0241-82-5320
10月18日(土)	伊南川1100kmウルトラ遠足	伊南地域	南会津 伊南・館岩地域・檜枝岐村	南会津観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
	第27回会津高原館岩新そば祭り	館岩地域	南会津 前沢 蕎麦処曲がり家	南会津観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
10月18日(土)・19日(日)	第10回会津の編み組工芸品展 第5回東北六県伝統的工芸品展	三島町	三島町交流センター 山びこ	三島町生活工芸館 ☎0241-48-5502
10月19日(日)	第3回赤べこ発祥の地会津柳津フルマラソン	柳津町	柳津運動公園	柳津温泉旅館組合 ☎0241-42-2302
	伊南川古町温泉あゆまつり	伊南地域	古町農村公園	南会津観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
10月25日(土)	大博多山秋の山開き	館岩地域	青柳 大博多山登山口	ゴーマン杯南会津町ふるさと健康マラソン大会実行委員会 ☎0241-64-5677
	第4回ゴーマン杯南会津町ふるさと健康マラソン大会		南会津 館岩地域内	
10月25日(土)・26日(日)	奥会津ごっつおまつり	金山町	金山町中川町民体育館周辺	金山町役場産業課 ☎0241-54-5327
10月26日(日)	第16回昭和村秋味まつり	昭和村	道の駅 からむし織の里・昭和	昭和村秋味まつり実行委員会 ☎0241-57-3100
	南郷トマトまつり	南郷地域	西部グリーンセンター前	JA会津みなみ西部地区営農課 ☎0241-72-2554
10月29日(水)・30日(木)	新そばを味わうタベ	檜枝岐村	檜枝岐村東雲館(公民館)	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
11月2日(日)・3日(月)	やないづ町文化祭	柳津町	やないづふれあい館	柳津町文化協会 ☎0241-42-3511
	第44回只見町文化祭	只見町	町民体育館	只見町教育委員会 ☎0241-82-5320
11月3日(月)	農林業まつり・JAまつり	柳津町	柳津町役場農林振興班	柳津町役場農林振興班 ☎0241-42-2116
	三島町文化祭	三島町	三島町民センター	三島町教育委員会 ☎0241-48-5599
11月8日(土)	第7回会津柳津新そばまつり	柳津町	やないづふれあい館	柳津町商工会 ☎0241-42-2552
	只見新そば祭り	只見町	季の郷 湯ら里	季の郷 湯ら里 ☎0241-84-2888
11月9日(日)	第23回妖精の里剣道大会	金山町	金山町中川町民体育館	金山町教育委員会 ☎0241-54-5361
11月10日(月)	虫供養	三島町	早戸地区	三島町教育委員会 ☎0241-48-5599



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)
発行日：9月15日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525
http://www.okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 内TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。